

海外派遣留学プログラム 留学中報告書

所属：国際教養学部

学年：3 年

留学先大学：ローマ大学ラ・サピエンツァ

現在の学期：1st semester

時間割：

曜日	履修科目名・時間等
月	
火	10:00-12:00 International Relations Nationalisms and Minorities 12:00-14:00 Words of History 14:00-16:00 Social Anthropology 16:00-18:00 Business Administration
水	16:00-18:00 International Relations Nationalisms and Minorities 18:00-20:00 Business Administration
木	18:00-20:00 Social Anthropology
金	12:00-14:00 Business Administration 14:00-16:00 Words of History
土・日	

履修科目や近況について

【履修について】

履修科目の選択については、留学先大学で Global Humanities という学部にも所属しており、その学部で開講されている歴史科目や文化人類科目を中心に学びたいと考えたのと、同時に経営学についても学びたいと考えていたため、他学部の Business Science という学部の授業を選択しました。昨年度に開講されている科目とは違う科目が多かったため、最初の1〜2週間は興味や関心のある授業にいくつか出席してみたのですが、最終的に授業内容と時間割を踏まえて、上記の授業を選択することに決めました。

International Relations Nationalisms and Minorities という授業では、西欧と東欧におけるアイデンティティや文化の形成について、民族や宗教といった少数派の視点から近代以降の政治・文化的歴史を踏まえて考察していくという授業です。授業は週 2 回

で、各回講義とリーディング資料が1~2本提示されます。最終回ではプレゼンテーションがあり、私自身はハンガリーとスペインの留学生同士でプレゼンテーションを行う予定です。また、成績は口頭質問での対面のテストで決まります。この授業に限らず、こちらの大学のテストでは口頭質問の場合が多いため、現地の学生に勉強方法などを聞きながら対策したいと思います。

Words of History では、国家や地域を超えたつながりや交流の視点から世界の歴史を再考し、グローバル・ヒストリーの主要概念について理論的・方法論的に学ぶ授業です。内容については、世界史の理解を基礎に学んでいくことができ、日本や中国といったアジアのトピックも出てくるため、非常に理解しやすい内容だと思います。こちらの授業も、リーディング資料は毎回 1-2 本程度出されるため、かなりの量のリーディングをこなす必要があります。成績についてはプレゼンテーションと筆記試験で決まります。

Social Anthropology では、社会における親族関係や家族の形態について学ぶ人類学の内容を取り扱っています。日本で人類学についてほとんど学んだことがなかったのですが、人間の文化的な価値観の形成について幅広い視点から学べるため、非常に興味深い内容だと感じています。また、この授業では、スライドといった授業資料がほとんどないため、メモを取るのがかなり大変です。成績は、授業内容とリーディング資料に沿った筆記試験で決まります。

Business Administration は、経済学部で企業経営や管理などを戦略や組織、会計といった基礎的な内容を体系的に学び、企業について多面的な理解をする授業です。この授業は週 3 回と他の授業よりも内容が多いため、復習にかなり時間をかけています。成績は、筆記と口頭の 2 つの試験で決まる予定です。

また、以上の授業の他に、9 月にはイタリア語の授業をオンラインで履修しました。集中コースということもあり、平日の 17 時から毎日 2 時間授業を受けました。受講する前にコース分けのテストがあったのですが、A2 レベルの授業に分けられたため、少しレベルの高い内容になってしまったのですが、イタリア語の基礎的な文法(過去形~未来形や命令形くらいまで)を網羅することができたため、受講して良かったなと感じています。また、セメスターが始まる手前の 9 月に受けたことで、イタリア語の勉強を集中することができたので、その点も良かったのかなと感じています。

【生活面について】

生活面では、サークル等の活動には参加していませんが、Erasmus の留学生団体のイベントにたまに参加しています。同じ学部の人と会えるなど、友達を作れるきっかけにもなるので、最初の頃は参加してみるの結構オススメかなと思います。

また、平日の授業終わりや休日には、友達とカフェやご飯を食べに行ったり、お出かけしたりしています。ローマは観光スポットや歴史的な建物が多いため、友達と遊んだり、散歩したりするだけでもすごく素敵な 1 日を過ごすことができるというところが魅力的なポイントだと思います。

住居については、大学から徒歩 20 分程度のシェアアパートに住んでおり、個別の部屋とバスルーム付き、キッチンと洗濯機のみを共有するタイプのアパートに住んでいます。フラットメイトはドイツ人の学生 2 名と、トルコの学生 1 名で、キッチンで一緒にご飯を作りながら会話したり、近くのジェラート屋さんやレストランに夜ご飯を食べに行くなど、特にトラブルもなく楽しく過ごしています。

【留學生活の写真】

・キャンパスの様子



▶ 学部棟内の自習スペース。銅像に囲まれて勉強できます。



▶ パレスチナの学生デモ。



▶ 学食のようなシステムの場合のピザ(2-3€)。

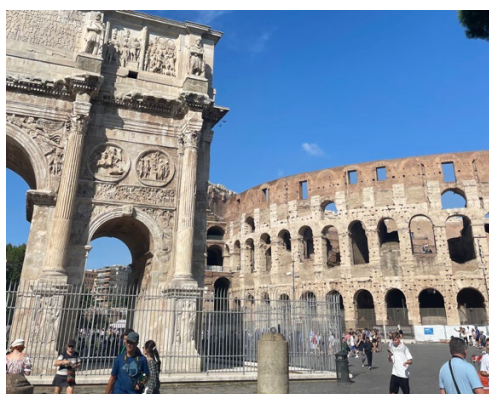
・その他の写真



トレヴィの泉



パンテオン



コロッセオ



近所の公園とその近くの道路

・食べ物集



